





ヨセフは国王の 近となる者に近づいて、こう言いました。「国王に私のことを えるの  
です。」彼は国王が彼の抑 について し、解放することを望んでいました。しかしなが  
ら、サタンの きかけと策略によって、彼はヨセフについて言及することを忘れてしま  
ったため、彼はその も数年 に渡って牢 に留まることになりました。イスラ ム学者たち  
は、この忘却の性 について2つの 解を示しています。イブン カスィ ルは、男が にヨセフ  
について言及することを忘れたのであるとし、他の学者はヨセフが神のお力添えを祈  
し忘れたため、男が彼についての言及を忘れてしまったのであるとしています。いず  
れにせよ、ヨセフは 中に残り、忍耐と不屈の精神をもって神を信 し けたのです。

## 国王の

国王は、ナイル川の川岸に立っているとき、7 の肥えた牛の次に、7 の せた牛が川から  
れるのを る を ました。それは、7 の せた牛が肥えた牛を食い尽くすというものです。次  
に、7本の の 物の がナイル川の川岸から生え、それらが泥の中に消えると、同じ 所から  
7本の乾いた 物の が生えました。国王は から めると し、魔 、司祭、牧 を呼びます。彼ら  
はその解 をすることが出来ず、それが なる であったという に します。 中でヨセフと一  
になった男がその のことを耳にし、ヨセフのことを思い出しました。国王の 可を得て  
、彼は牢 へと急ぎ、ヨセフに の解 をするよう むのです。

“????????????????7??  
??  
??1??12?47?49?

国王は の解 をしたばかりでなく、 策まで打ち出したヨセフについて きを すことが出来  
ませんでした。国王はヨセフを呼び出すよう命じました。しかしヨセフは牢 から出る  
ことを拒否し、使者が国王のもとに り、こう ねることを要求したのです。

“あの手をつけた 人たちはどうなっているのか” (クルア ン12: 50)

ヨセフは自らの 白が 明されるまでは牢 から出ることを望みませんでした。

フィットナというアラビア語は、容易に多言に翻すことの出来ないです。それは、**試練**や**苦難**を意味しますが、**正信**の正しい**崇拝**が阻まれること、または**不信**や**不信仰の行**を引き起こすような**状態**を指し示します。

この 事 の ウェブ アドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1839>

著作 2006-2015 断 断 を 禁 じ ます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 断 を 禁 じ ます。